

楽しいよ！ アンパンマンクラブ



今津地域のアンパンマンクラブでは、10数人のメンバーが毎週第2・4火曜日に子育てサークル活動を行っています。活動内容や事業の実施は当番制で行うことにしています。お母さん同士が顔見知りとなり、活動をしていくことで、メンバー全員のコミュニケーションも

図れていきます。

春には、毎年恒例の「サクラソボ狩り」にマキノピックランドに行きます。みんなで、食べるサクラソボはとても甘くておいしいです。

他には、七夕・クリスマス・ひな祭り・お別れ会など季節にあつたクッキングや制作もしています。クッキングでは、子どもたちが喜びそうな献立を考え、同じ年齢の子が食べることを通してお箸に興味を持つこともあり「うちの子だけできない・・・。」という悩みが解決できたりします。子ども同士も良い刺激となっています。

また、手作り制作のフラパンでは、「キーホルダー」などの記念制作も楽しんでいます。とても楽しいですよ。近年、子育てサークルが減ってきている現状ですが、頑張つて活動しています。ぜひ一度、アンパンマンクラブをのぞいてみませんか。かわいいお子さんにいるいろいろな経験を一緒にさせてあげましょう！

子育ての 子育ての 子育ての いい話

ゆっくりに成長してゆけ

私たち親子が、支援センターに通うようになって2年になります。通い始めて半年以上は、全くと言っていいほど遊ぶこともしないで私から離れない日々が続きました。「こんなに嫌がるなら来るのをやめようかな」と何度も思ったり、「なぜ、うちの子だけ」とイライラしたり・・・でもセンターの先生やセンターでできたママ友に支えられ、続けていくことができました。

んな子どももよいよいよ4月から入園します。とてもゆっくりですが、成長していくわが子を見て、先生やママ友に感謝しています。子どもにとってもたさんの思い出ができた良い場所だったなあと思っています。

支援センターを卒業することは寂しいけれど、これからも親子ともゆっくり成長していきたいと思っています。



- =子育て支援センターへの問い合わせ=**
- マキノ地域(マキノ児童館内) ☎(27)8187
 - 今津地域(今津東保育園内) ☎(22)4833
 - 朽木地域(朽木保育園内) ☎(38)2070
 - 安曇川地域(古賀保育園内) ☎(33)1540
 - 高島地域(高島保育園内) ☎(36)0660
 - 新旭地域(大師山さくら園内) ☎(25)3399

シリーズ 学校に行けない① 不登校と、子どものサイン

不登校は「子どもが学校や勉強を嫌がって学校に行かない」というような単純な事ではありません。そのとらえ方は様々ですが、市では次のような状態の子どもを不登校とらえています。

- ① 登校が難しく、登校しづりや時々長期欠席をする。
- ② 登校するときに、身体疾患がないにもかかわらず症状を訴え、情緒不安定を示して欠席する。

図のように、不登校は中学1年時に大きく増加しています。この時期は、学習内容や方法、新しい人間関係などで環境が変わるとともに、思春期特有の不安定な時期でもあります。

不登校になる前に、多くの子どもたちは、ちょっとしたサインを出しています。どうか気づいてあげてください。そして、早めに学校や関係機関に相談してください。

子どもが不登校になった時、親は悩みます。しかし、一番ほしい思いをしているのは、その子ども自身です。だからこそ、子どもに気になる症状が出た場合、まずは、

子ども虐待防止啓発標語⑤

「忘れるな その幼子は あなたの子」

子ども虐待防止活動の一環として、昨年7月に募集した標語の中から、毎月1作品をご紹介します。

(高島中学校3年 中村 裕也さん)

不登校の早期発見チェックポイント

- 朝起きるのが遅くなり、ふとんからなかなか出てこない。
- 着替えやトイレに必要以上に時間をかける。
- 朝食の時、表情が暗かったり、食が進まなかったりする。
- 登校時間になると、頭痛、腹痛、発熱などを訴える。
- 月曜日や休み明けなど、特定の曜日に学校に行きたがらない。
- 夜遊び、夜更かしが増え、朝起きられないことが多くなる。
- 学校や勉強のことを言うと、ひどく不機嫌になる。
- 部屋に閉じこもりがちになる。
- わざと憎まれ口をたたいたり、嫌がることをするようになる。

市内の子どもに関する相談機関

- ◆子ども家庭相談課 ☎(25)8517
- ◆教育相談・課題対応室 ☎(32)4406
- ◆市少年センター ☎(32)3824

原則、中学生以上20歳未満の青少年を対象とした生活改善や就学・就労に関する相談に応じています。

子育てや子どもの発達・問題行動、夫婦間の暴力など家庭に関する相談に応じています。

【参考】滋賀県教育委員会事務局学校教育課発行「子育てリーフレット」(平成20年3月)

ている子どもたちを応援する専門の機関があります。もちろん、相談内容などの秘密は厳守します。